常任委員会は2部門に分かれ審議しています。
総務厚生常任委員会（総務課・企画政策課・税務出納課・町民課・健康福祉課・教育委員会・病院・議会・監査・消防）

総務厚生常任委員会

町民の生命と財産を守るために

3月10日に委員会が開催され、白鷹町国土強靭化計画の策定について説明を受けた。

【計画の趣旨】

今後想定される大規模自然災害から町民の生命と財産を守り、持続的な成長を実現し「強靭なまちづくり」を推進するため計画を策定する。

質疑

社会経済システムの強靭化とは

委員 **どのような災害が起こっても、経済が停滞しないようにする施策も計画の中に入るのか。**

当局 経済流通が滞らないような施策をあらかじめ講じておくという計画。国、県、町それぞれ役割があり、災害対応は単独ではやれず、連携が重要。最上川の堤防が破れた場合の交通の確保をどうしていくかなど、町の計画として策定する。

委員 **避難指示や勧告に対し住民意識がまだ徹底されていない。徹底しないと大災害時に影響が出るのでは。**

当局 避難勧告、避難指示は、相当慎重にならざるを得ない。自主防災組織や消防団の力をお借りしながら、決断は重いが、町民の生命財産を守るため取り組んでいく。

学校魅力化へ英知を結集

荒砥高等学校の状況について説明を受けた。

【経過】

「荒砥高校をサポートする会」を中心に支援してきたが、4月より1学級減となる。県は新たに再編整備基準を公表した。

1学年1学級の学校は、魅力的な学校づくりや活性化策等を学校や町等で構成する地域連携協議会で検討し、3年間実施する。

質疑

地域連携協議会の内容とは

委員 **協議会を設置し3年間をめどに実施とのこと。定員に満たなくても3年間継続か。**

当局 3年間は積極的に取り組んでもらいたいとのこと。その後2年間、定員の2分の1未満の場合は協議となる。5年間は継続できると捉えている。

委員 **具体的に学校の中身に踏み込んだ協議ができるのか。**

当局 サポートする会の延長でよいのではとのこと。県の設置要綱が出た段階で検討していく。

委員 **協議会はいつ立ち上げか。**

当局 県からの設置要綱の通知を受けてから設置となるが、サポートする会が中心になるかと思う。

会として様々支援をしてきたが、県立だから支援が難しいということではなく、逆にこちらが支援する方法を見出せなかったと認識している。子どもも増えている状況ではなく、他の高校も定員割れをしている。人数は増える要素がないことを踏まえた対応をする必要があるのではないか。一緒になって方向性を見出していきたい。

存続に向けて

その他
○固定資産税・都市計画税の課税誤り
○第2期白鷹町子ども・子育て支援事業計画
○総合型地域スポーツクラブ RO＊KUの見直し
などについて説明があった。